身近な情報をお寄せください
（白根市役所企画財政課広報広聴係
☎373・2111）

議場ってどんな所？

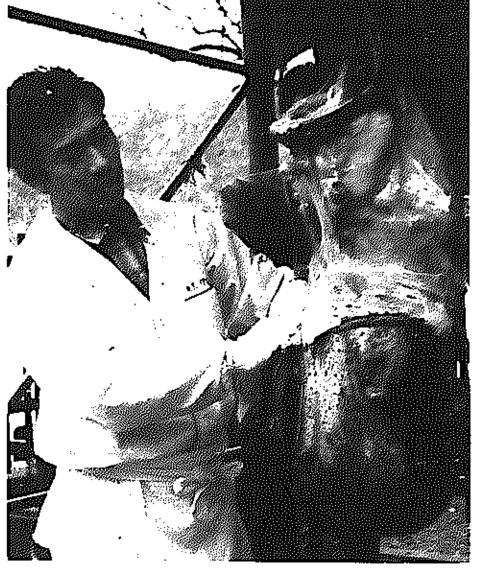
白根小学校議場見学

白根小学校の六年生が二月二十四日から四日間、各クラスごとに議場などを見学しました。これは、社会科の学習の一環として、市議会議場を見学して身近な政治の働きを考えようと計画されたもの。

初めて議場に入った子供たちは、早速席に座って大喜び。議長役を務める子供が質問を受け付けると、「議員数は何人ですか」、「議会で決まったことはすぐ実行されるんですか」など、次々と質問が飛び出します。ちびっ子議員たちは、担当職員の答えを一生懸命ノートに書き込んでいました。

大物アンコウを賞味

臼井地区公民館



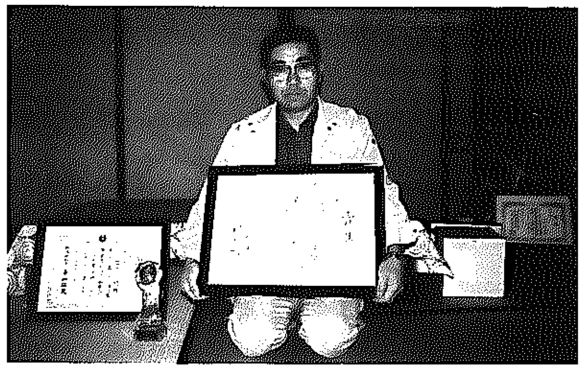
漂流重油で心配されている日本海。でもこんな立派なアンコウが捕れました。これは、二月十一日、臼井地区公民館で開かれたアンコウ鍋を作る会での写真です。

吊るし切りされているのは、約三十キロもある大物アンコウ。坂井公民館長は「深海魚を引き上げるとき、まれに口に重油が入ることがあるんですが、でもこれは大丈夫。まるまる太って最高です」とほっとした様子。

この日は地区の人約三十人が参加。蒸した肝はポン酢で、肉や皮は鍋にして、冬の味覚を存分に楽しんでいました。

観光農業のパイオニアとして 地域農業に貢献

笠原 優さん（上鷺ノ木）、第26回日本農業賞個人経営の部で特別賞を受賞



市内で観光果樹園を営む笠原優さん（上鷺ノ木）が、このほど第二十六回日本農業賞個人経営の部で特別賞を受賞しました。観光農業という新しい分野の農業経営に先駆的に取り組みながら栽培技術を確立し、地域農業の発展に大きく貢献してきた点が高く評価されて今回の受賞に至ったものです。

笠原さんは、昭和三十二年に就農。減反を機に観光農業に着目し、試行錯誤を重ねて昭和四十一年に観光果樹園を開始。入園者数は、昨年十万人を突破しました。この間、全国各地の先進地へ足しげく通い、その技術を応用しながらハウス栽培や加温ハウスなど県内初の栽培技術を次々に導入。これらの技術を地域に公開し、後継者育成にも努めてきました。

「井の中の蛙になってはいけない」と常に先を見据えて、新しい技術の導入のために全国各地へ研修に出向いている笠原さん。今後は、新たにイチゴやメロンなどを加えた総合フルーツ園を造ることを計画。県内初の回転式ロックウールシステムという方法で、イチゴ栽培の準備を進めています。

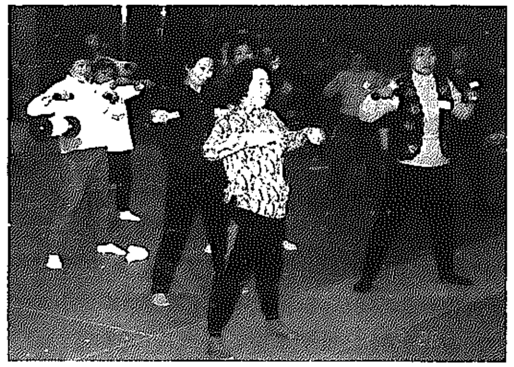
「子供たちに農業体験をしてもらい、畑で成っている果物を見せ、新鮮なものを食べさせてあげたい。計画している施設は、新鮮な農産物がそろっている『畑のスーパーマーケット』にしたいですね」と熱っぽく語ってくれました。

正しい指導で効果的な運動を

保健センターリフレッシュ講座

「汗ばむ程度の運動でリフレッシュ」と、保健センターが二月から開講したリフレッシュ講座が好評です。約八十人の中高年者が参加し、ストレッチ運動、ダンベル体操、エアロビクスなどに汗を流しています。

「太らない体質をつくろう」と開催された第二回の教室では、正しいダンベル体操を学びました。講師は新潟フィットネスサポートシステムの住安勉さん。「下り坂になった基礎代謝を高めましょう」と、正しいダンベルの持ち方から特定の筋肉に的を絞ったトレーニング方法まで、細かく指導します。



「大切なのは、すべての種目をお腹に力を入れて正しい姿勢でやること」と講師。でもそれが何より大変で、一生懸命に取り組む皆さん。うっすら浮かぶ汗が健康的でした。

伝統の技、受け継ぎます

長井照夫さん（能登六）

「雪はもう大丈夫、だけど今度は凧が気になり出してね」と思われる方も多いのでは。そんな人たち、町内の期待を背に、大凧の麻綱を冬の間せっせと編んでいらっしゃるのが、長井照夫さん（能登六）。

今まで巻凧の綱は編んだことのある長井さんも、大凧の綱は去年編んだ役者組の綱が初めて。評判が良く、今年は桜蝶組からも依頼されたとか。白根市側には大凧の編み手が四、五人しかいないとかで、来年はいよいよ能登町内の本新蝶組の綱ではと話を向けると、「いや、自分の町内の綱はやりにくいですよ」と。

農村女性、インドネシアへ

市内農業婦人が視察研修

市内の農家の主婦四人が、インドネシアを視察、現地の農家婦人と交流することになり、出発に先立ち、二月十八日市役所で、市長から激励の言葉を受けました。

視察に行くのは、大野佳代子さん（下大郷二）、佐久間すみえさん（上大郷）、高野由美子さん（下八枚）、小田悦子さん（櫛笥）。「朝市を見たり現地の婦人と交流したりしてきたい」と抱負を語ると、竹内市長は「市でも皆さんの得た情報を大いに参考にさせていただきたい」と期待を込めました。

身近な話題で、共感呼ぶ劇

茨曽根地区公民館・保健会　健康一〇〇歳教室

茨曽根地区保健会・公民館共催の「健康一〇〇歳教室」が二月二十六・二十七日の二日間、同地区の四会場で行われました。これは「寸劇を通じて健康づくりを考えてもらおう」というねらいで行われており、今年で三年目。地元の人たちが出演する劇は好評で、大勢の人たちが会場に詰め掛けました。

嫁と姑、隣近所の付き合いなどを健康問題に絡ませた内容に、集まった人たちはうなずいたり、大笑いしたり。名優さんたちの熱演に大きな拍手が送られていました。